

東上総教育事務所だより



大多喜城 いすみ鉄道

〒297-0024 茂原市八千代 2-10

千葉県教育庁東上総教育事務所

TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143

E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp

第4号

令和元年12月18日(水)

所長訪問・指導室訪問を振り返って

総務課

所長訪問にあたり、校内の環境整備や諸表簿の御準備等ありがとうございました。総務課では、学校における適正・正確な事務処理の推進のため、今年度は給料・手当関係のほか、学校徴収金に係る諸表簿を確認させていただきました。学校徴収金マニュアルの未整備や現金の取扱いが十分とは言えない状況が一部の市町村及び学校で確認され、早期の改善を求めてまいりました。

なお、学校概要説明の際、事務職員の皆さんから、学校運営への参加や共同実施の活動などについての意見等をお聞きしました。さらに、共同実施による効果、効率性等について管理職の方々にもお伺いし、共同実施での活動が学校職員全体へと広がってきていることも確認できました。

「事務所は、学校の応援団！」です。新たな取組に挑戦し、よりよい学校の教育条件の整備を目指し、今後も事務所を大いに活用いただきたいと考えております。



管理課

学校訪問を学校経営及び運営の診断のよい機会と捉え、御準備等いただきありがとうございました。各学校では、児童生徒と先生方が強い信頼関係で結ばれ、教育活動が進められていました。どの学校も市町村（組合）教委と連携を図り、信頼される学校づくりに向けて特色ある取組がされていました。また、人事評価及び学校評価を効果的に活用するとともに、若手教員育成チーム等を組織して、積極的に教職員の育成を図り教育力の向上に成果を上げていました。

不祥事根絶に関しては、モラルアップを図りながら、計画的に研修が進められていました。今後も、当事者意識と切実感を持てるような、実効性のある研修の推進をお願いします。

働き方改革に関しては、教職員の出勤時刻を客観的に把握する方法が浸透してきていました。また、部活動や会議、行事等の在り方について見直しを図る等、業務改善に進んで取り組んでいる学校が見られました。5月に改訂された「学校における働き方改革推進プラン」で示された、いわゆる「過労死ライン」といわれる「月当たり正規の勤務時間を80時間超えて在籍する教職員を『0』にする。」という目標実現に向け、勤務時間の適正管理や業務改善への取組がより一層推進されますようお願いいたします。



指導室

学校経営については、家庭や地域と連携及び協働を深めながら「社会に開かれた教育課程」を意識した取組が進められていました。また、学校評価や各種調査を基に、学校経営上の課題を把握し、積極的に経営の改善を図っていました。

学力向上については、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」改訂版を活用した授業展開が多く見られました。また、授業の終末で、児童生徒による「振り返り」を行い、学習活動の成果や課題を把握させる取組が行われている学校も増えています。今後、更に「全国学力・学習状況調査」の誤答分析ツールやクロス集計を活用し、学校全体での課題共有等による授業改善が、一層図られますようお願いいたします。

生徒指導については、学校いじめ防止基本方針の公表及びいじめの積極的な認知により、認知件数が増加しています。また、長期欠席児童生徒数は小学校で増加傾向にあります。いずれにおいても、早期発見・早期対応を心掛けるとともに、組織的な対応で改善に取り組んでいただきたいと思います。

特別支援教育については、校内研修や関係機関との連携も増え、校内体制の充実が図られてきています。さらに、合理的配慮の提供についても積極的に周知が図られています。



東上総管内で実施された「公開研究会」①

「地域における食育指導推進事業」授業公開

大多喜町立西小学校

千葉県では、教育事務所ごとに、栄養教諭等による3～4名の食育指導推進委員と食育指導推進拠点校を指定し、地域の関係者を対象とした授業公開や研究協議等を行う体制を整え、地域における指導実践力を高めるとともに、指導者の育成を図ることを目指しています。

今年度、食育指導推進拠点校の一つである大多喜町立西小学校では、主に献立作りを通して、望ましい食習慣と生活習慣病予防について考え、実践する活動を重ねてきました。10月11日（金）に、食育指導推進委員が中心となり、4年生の学級活動において「生活習慣病予防」を題材に授業公開を行いました。授業では、食事の基本形態や栄養バランスの視点で話し合いが行われ、最後に児童一人一人が事後に取り組む個人目標を設定しました。当日は、管内から30名以上の参観者が集まり、授業後の研究協議会では活発な意見交換がなされました。



「千葉県学校体育研究大会」

大網白里市立白里小学校・大網白里市立大網中学校・千葉県立大網高等学校



11月8日（金）に千葉県学校体育研究大会が開催され、県内から約500名の関係者が参加しました。午前中の大網白里アリーナを会場とした全体会では長年の体育実践の功績を称え、学校体育優良校として九十九里町立片貝小学校と横芝光町立日吉小学校が表彰されました。また、「学習指導要領の趣旨を踏まえたこれからの体育指導」という演題で流通経済大学の柴田一浩教授の講演がありました。

そして午後の分科会では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた体育学習の展開」の大会主題のもと、大網白里市立白里小学校（主体的に学びに向かい、「声と汗」があふれる体育学習に取り組む児童の育成：6年生マット運動・2年生鉄棒遊び）、大網白里市立大網中学校（課題解決に向けて主体的に活動できる生徒の育成：2年生バレーボール・3年生ハンドボール）、千葉県立大網高等学校が、それぞれ授業公開及び研究発表を行いました。



大網白里市立白里小学校



大網白里市立大網中学校

「地域や関係機関と連携した防犯教育公開事業（学校安全総合支援事業）」

山武市立松尾小学校

11月20日（水）に山武市立松尾小学校で、文部科学省委託事業・千葉県教育委員会指定「地域や関係機関と連携した防犯教育公開事業」が開催されました。

松尾小学校では、研究主題を「自分の命は自分で守ることのできる児童をめざして」とし、立正大学原田豊教授が作成した防犯まちあるきツール「聞き書きマップ」を活用した取組を行いました。この「聞き書きマップ」は、ICレコーダー、デジタルカメラ、GPSロガー等の情報機器を使って防犯マップを作る活動です。



授業では4年生が、自分達の住んでいる地区の「危険箇所①一人だけになるところ、②見えにくい場所、③通路、④暗くなったら危険、⑤自由に出入りができる」に視点をあて、松尾小防犯マップを作成しました。

公開当日は、作成したマップをもとに「どんなことに気をつければいいのか」をグループや全体で積極的に話し合いながら、危険を回避する具体的な行動を考えていました。また、児童だけではなく、一緒に活動した地域や保護者の方々の防犯に対する意識も高まっているという報告がありました。

【お知らせ】「学力向上交流会(11/26 大多喜中学校)」「特色ある道徳教育推進校における研究事業(11/29 八積小学校)」「学校安全教育公開研究会(11/29 東部小学校)」「『ちばっ子の学び変革』推進事業(1/24 高根小学校)」については、次号で紹介いたします。